

第5回大楠幼稚園関係者連絡会会議録

■日 時 令和5年(2023年)3月3日(金) 13:00~14:00

■場 所 大楠幼稚園 2階プレイルーム

■出席者等 保護者、町内会関係者、学校関係者 計7人

事務局等	教育総務部 部長	古谷 久乃
	学校教育部 部長	米持 正伸
	教育政策課 課長	飯田 達也
	教育政策課 主査	大堀 圭輔
	教育政策課 担当者	武田 裕史
	財務部FM推進課 課長	首藤 昇
	財務部FM推進課 課長補佐	山中 理

■資 料 ・第5回大楠幼稚園関係者連絡会 次第

■発言内容

1 事務局からの説明

※資料に基づき、事務局から説明を行った。

2 意見交換

(保護者)

翌年度の連絡会のメンバーについては、どのような方を対象とする予定ですか。

(FM推進課)

基本的には地域の方を考えていますので、現在ご参加いただいている方を中心に考えていければと思っています。

ただ、具体的なメンバーについてはまだ決めていませんので、こちらで検討し、来年度の4月以降にまたお声がけさせていただければと思います。

(保護者)

私たちは現役の保護者の代表として招いていただいています。来年度にはメンバ

一が変わります。

それで、どのような方が連絡会に出席できるかによって、意見の託し先を考えるので、具体的な人物ではなく、例えば町内会長や大楠幼稚園在園児保護者が入るのか、加えて、地域住民の中から出席を希望する方が出席できるかどうかなどが決まっているのかを教えてください。

(FM推進課)

繰り返しになりますが、まだ具体的にはメンバーを決めていません。

ただ、こちらとしても地域の居場所機能として使用していきたいと考えていますので、まずは町内会長を含めた役員の方と学校の保護者の皆さまを含めて検討していきたいと思います。

確認ですが、今回出席されている保護者の皆さまのお子さんは、本年度で卒園されるということですか。

(保護者)

本年度で子どもが卒園しますが、今後の大楠幼稚園の跡利用については、私たちを含めた保護者、地域の方々、子どもたちも気にしています。こうした連絡会に誰が出席できて、意見を誰に託したら良いかが気になりました。

(FM推進課)

誰が出席するかを明らかにする必要があると思いますが、場所に限りがございます。そのため、地域の方々を含め全員出席というのは難しいと思いますが、在園児保護者の代表として、これまで連絡会にご参加いただいていたことは伺っていますので、どのような方が出席できるかについては明確にお伝えしたいと思います。

また、メンバーの人数に関するご意見を頂くこともあると思いますので、その点についていろいろ教えていただければと思います。

(保護者)

今回の次第を見る限りでは、今後の跡利用がメインになっているように思いますが、保護者としては大楠幼稚園が閉園するまでの活動内容がとても気になります。このことについて、保護者の方々から吸い上げた要望を述べたいと思います。

まず、何度か申し上げたことですが、小学校、近隣の大楠愛児園を含めた他の保育施設の方たちと一緒に活動できる機会を設けてほしいということです。これについて

は検討していただけるとの回答を頂いていますが、現時点で既に話し合いを行った、あるいはその予定がある等がありましたら教えていただきたいです。加えて、このことについて、園長先生と校長先生の間でお話する機会がありますか。

(大楠幼稚園)

大楠愛児園とは、本年度の早い段階で、今後についての話し合いの場を設定していく話はしています。その中でも、園児がお出かけをする部分についてはどちらの園でも似ていますので、このことを合同で行うことは可能ではないかという話もしています。

小学校の方については、現在、来年度に向けて体制を組んでいる段階だと思っておりますので、これからのことだと思います。

(大楠小学校)

今おっしゃったように、今後については具体的な話になっていません。

ただ、本年度ベースで見ると、昨年度までできなかった給食の交流や幼稚園児が小学1年生の清掃活動を見に行くという企画がありました。今後については、運動会に関するお話も頂いている中で、できることが少しずつ増えていくと思っておりますし、さまざまなことが検討できると思っております。

(教育委員会事務局)

私どもでも、昨年の秋に市内の幼稚園と保育園の方に対し、こうした現状になることを踏まえて協力をお願いしています。

(保護者)

私の末っ子が来年度4月に大楠幼稚園へ入園予定であり、再び2年間お世話になります。

今の話は外部との交流に関するものでしたが、親としてとても気になるのは、例えば、最終年度における運動会の進め方、毎月行っている誕生会の実施など園内の行事をどうするのかということです。現在年長の子どもと来年度から入る末っ子は同じ一人の人間なのに、幼稚園で経験する内容が大きく変わってしまうのはとても悲しいと思うので、その点については園長先生や幼稚園の方々をお願いしたいですし、頑張っていたいただきたいという気持ちが大きいです。

具体的な話で申し訳ありませんが、例えば園児が5人しかいないことによる誕生会

の回数について、減るであろう分をどのように補ってくれるのかを考えてしまいます。ですので、親の気持ちを伝える場として園長先生としっかり話し合える場を作ってもらえるなどを行うことで、家庭と幼稚園の連携をとれるようにしていただけると安心だと思います。

(大楠幼稚園)

連携については今までも心がけてきたと思いますし、園長だけでなく先生方も取り組んでくれていると思います。

ただ、今まで行ってきたことを今後も同じように行うことは難しいと思います。今おっしゃった「補う」という考え方というよりも、行事の意味をしっかりと担保し続けていくことはできます。

例えば、誕生会は回数の問題ではなく、その園児の誕生日を皆で大事にするという考え方で行えば可能だと思います。

また、園児の数は少なくなっても、園児一人一人のことを大切にすることというのはこれまで大楠幼稚園でやってきていることですので、そのあたりを工夫してやることについて、一緒に考えていければと思います。

(保護者)

ご考慮いただきありがとうございます。

さまざまな工夫をしていただいていると思いますが、長い歴史のある大楠幼稚園が幕を閉じることになり、長年にわたって関わっていただいた先生方の経験や思いもあると思いますので、こうしたものをこれからも大切に生かしていただければと思います。

(町内会)

大楠地区においては、大楠幼稚園だけでなく秋谷老人福祉センターもなくなりますので、跡利用に関しては、皆さんが使えるような拠点にしたいと考えています。

ただ、具体的なものについてこの場ですぐに決められるものではありませんし、費用の問題もあれば、この建物をそのまま使えるというものでもないと思いますので、今はあくまで地域の要望を考えていただくという段階であり、まだ白紙状態です。

(保護者)

来年度から行う検討会のメンバーについては、大楠愛児園、学童、小学校などさま

ざまなところの代表を集めて決められれば一番良いと思います。閉園後、この施設がいつから活用されるか分からないと思いますが、例えば閉園の前年の夏休みに、使用していない時間帯に施設利用のシミュレーションを行うのも良いのではないかと考えていました。

あくまで保護者のリクエストですので、案の一つとして聞いていただけたらありがたいです。

(FM推進課)

ご意見ありがとうございます。

まずメンバーの人選について具体的なことはまだ決まってないので、考えていきたいと思います。

この施設は幼稚園ですが、ここを利用するのは、お子さんから高齢者の方まで世代を問わず交流を図れる施設にしていきたいと思っていますし、ここに限らず市の他の公共施設においてもそのような形でやってきているところです。

したがって、地域の方を中心にお呼びしたいと思っていますが、人数には限りがございますので、その点についてはご理解いただければと思います。

また、先ほどのシミュレーションに関しては良いご提案だと思います。ただ、検討会の中でできることとできないこともありますし、実際に今後2年間は幼稚園として機能しますので、施設管理の方も含めてご相談させていただければと思います。

(保護者)

跡利用に関する意見を同じ保護者の方などに尋ねると、このことがどこで決まっているのかを知らず、自分たちの知らないところで決まっているイメージを持っているようです。

また、大楠幼稚園の閉園自体を知らない方もいますし、今後の予定も決まっていないので、こうした意見を述べられる場について、地域の方々に認知していただくための取り組みを行う予定はありますか。

(町内会)

閉園の話については、市の広報やホームページで再三流れていますが、知らないというのはどういうことですか。

以前も言いましたが、回覧板を回しても見ていないものだから、行事が終わった後にいつ行われたのかを聞かれるような状況です。情報を確認しようと思えば、市のホ

ホームページに載っているの確認できます。どのような方が知らないと言っているのですか。

(保護者)

大楠幼稚園の卒業生です。

(町内会)

自分の子どもが在園している場合は一生懸命になりますが、卒園してしまえば幼稚園への関心はなくなります。全員が当てはまるとは言いませんが、もし情報を知りたいのなら、市のホームページに載っているものを見てもらう必要があります。

(町内会)

私も今おっしゃったことに同意見です。

町内会では回覧や掲示板の活用等をいろいろやっていますが、本当に正しいことを知りたければ、自分から主体的に見ないとはいけません。

ただ、実際はその話を知らないと言ってくる人は多いですし、回覧板については早く回さないといけないため、内容を見ずに回してしまうと思います。

こうしたものについては、町内会会員の皆さまにはきちんと目を通した上で正しく理解していただきたいのですが、町内会の活動に協力していただける方は非常に少ないですし、大楠地区全体の取りまとめには非常に苦勞しています。その点についてご理解いただければと思います。

(保護者)

承知しました。

(FM推進課)

こちらで補足しますと、繰り返しになりますが、大楠幼稚園の跡利用については現時点で白紙です。これから地域の皆さまに使っていただくことを考えれば、当然、地域の皆さまの声を伺いながら決めていく必要があると思います。

ただ、検討会に参加できる人数には限りがありますので、地域住民の全員が検討会に参加するのは難しいですし、まずその検討会をやるということも一つですが、もう一つは、青少年の家や老人福祉センターの廃止の件と、廃止予定としている公共施設の利用者への説明会は、まだ行っていないということです。

こうした説明会は行う予定ですが、説明会の場において、例えば、青少年の家の機能を大楠幼稚園に入れることを検討している旨を、市から説明することになると思います。その際に、こうした機能がほしいというご意見を頂けるとありがたいです。

こうした説明会の場を設ける際は、市のホームページや広報よこすかへの掲載等、皆さまの目に触れるような形でご案内したいと考えていますが、現時点で決まっているものがないので、もうしばらくお待ちいただければと思います。

(町内会)

私から要望しているのは、60歳以上でないと使えない老人福祉センターというような施設をなくし、子どもから年配の方まで皆さんと一緒に使えるようなものにしていくということです。

ただ、内容は具体的なものではありませんし、あくまで要望という段階です。

ここで私が皆さんに聞きたいのは、こういう施設が良いのか、それとも子ども専用の施設があるのが良いのかということです。

(保護者)

町内会長がおっしゃったような要望は、保護者からもたくさん出ています。

午前は未就園児のお母さん、午後は学童にいる小学生というように、さまざまな人たちが時間に応じて使えるようになれば良いという意見はたくさん出ていますので、その点はぜひお願いしたいと思います。

話を戻しますが、幼稚園の閉園時もそうでしたが、施設を閉めることだけが決まっていてその先は未定という形だと、私たちは不安に思いますし、施設が閉まることだけに目がいってしまいます。

そこで、具体的なものを決定することはできなくても、参考として具体案を出していただければ、参加する皆さまも今後のことに意識が行くと思いますし、安心できると思いますので、説明会の仕方についていろいろ考えていただければ嬉しいです。

また、町内会長と保護者の方からもいろいろな人たちが使えるようにという要望もたくさん出ていますし、取り入れていただければと思います。

(FM推進課)

今回この場で頂いてきたご意見について本当にありがたいと思っています。

ただ、全員のご意見を吸収することは難しいと思いますので、検討会の中では、施設の使用方や時間割を決めるかどうか等、さまざまあると思いますが、工夫して皆

さまが気持ちよく使えるような形まで持っていければと思います。

また、今後の説明会については、個人によって感覚が違いますので、全員が納得できる形にすることは難しいと思いますが、少しでも何かお示しできるような形では検討していきたいと思っています。

大楠地区においては、大楠幼稚園の廃止がすでに決まっていますので、ここを中心にこうした施設の代替としてどのように使っていくかという形での説明になるものと思っています。

(保護者)

検討会の事務局はどちらになりますか。

(FM推進課)

検討会については、FM推進課が事務局として進めていきたいと考えております。

(教育委員会事務局)

メンバーについてはまだ決まってませんが、今回までの経過については教育委員会事務局が入っていますので、検討会の関わり方についてこれから検討していきたいと思っています。

(大楠幼稚園)

話は戻りますが、幼稚園はこれから続いていく訳ですので、その中で大事にしたいことを保護者からも言っていただいたと思います。

先日、当園で保護者アンケートを実施し、全家庭から回答していただいたものを数値化してみました。その中でも、今までできていたことが尻つぼみになっていくことへの寂しさについてのご意見も頂いています。

これに対して、ただできていたことができなくなるということではなく、園児の人数が少なくなることで園児一人一人の大切さの比重がさらに大きくなるわけですので、それに応じた対応も大切であると考えています。ただ、保護者の皆さまに対し、こういう意味で行事を見合わせた、あるいはスパンを変えたという伝え方が不十分であったところは反省点だと思っています。

また、先ほどおっしゃった、職員全員との懇談会等を設定していくというご意見については良いことだと思いますし、現在、来年度の教育計画を先生たちと協力して作っています。交流教育の件も含め、頂いたご意見を反映できるよう頑張っていると考えてい

きたいと思います。

(教育委員会事務局)

最後に一言述べさせていただきます。

昨年3月から5回にわたって関係者連絡会を開催してきました。皆さま、お忙しいところ本当にありがとうございました。

大楠幼稚園の閉園についての議論は、平成8年頃から約25年にわたって地域の皆さまと検討してきました。今回の関係者連絡会においても、大楠幼稚園が、本当に保護者や地域の皆さまに愛されてきた幼稚園であることを強く感じ、本当にありがたく思いました。また、本日までご出席いただいた皆さまからは、周囲のご意見を集約していただいたり、ご自身の意見をまとめた上でこちらへ伝えていただいたりしたことで、かなりのご負担があったと思いますが、ご協力くださいましたことを改めてお礼を申し上げます。

今後は、本日出席しておりますFM推進課を中心に、跡利用について検討を進めていくこととなりますが、例えば、学童クラブや放課後子ども教室など、放課後の子どものために使ってほしいというご意見については、教育委員会も関わっていきたくと考えています。

また、地域の方々からは、あらゆる世代の人たちの居場所や交流の場所になれるような活用の仕方についてのご提案も頂いています。これまで頂いたご意見をしっかり引き継ぎ、これからも地域の方々から愛される場所として活用していただきたいと考えています。

本日、このメンバーによる開催が最後になりますが、特に来年度と再来年度については、子どもの数も少なくなる中での幼稚園の活動となります。保護者にとって不安に思われるところもあると思います。本日で連絡会は最後になりますが、今後、必要に応じてこのような場を設けながら進めていきたいと考えていますし、教育委員会としても園児が卒園するまではしっかりサポートしていきます。

今後も引き続き、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

(教育委員会事務局)

事務連絡です。

本日の会議録につきましては、一度皆さまにお送りし、内容をご確認の上、修正したものをホームページ等で公開していきたいと思っております。

それでは第5回大楠幼稚園関係者連絡会を終了いたします。
ありがとうございました。

以上